

福田よしお県政レポート



国民民主党

編集・発行 福田よしお事務所 〒470-0155 愛知県東郷町白鳥二丁目4-7
 TEL: 0561-39-4407 FAX: 0561-39-4408 e-mail: fukuta440@yahoo.co.jp
 ホームページ・Facebookにも活動のようすをアップしてあります。ぜひご覧ください！



令和2年定例愛知県議会(2月19日～3月25日)



陽春の候 皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて新型コロナウイルスの感染拡大防止のため小中学校等の早期休業やマスクの欠品など社会生活に多大な影響が生じたため、国は新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部を改正して緊急事態対策の充実強化を図るとともに、効果的な経済対策を早期に取り組んでいます。愛知県・県議会も経済対策として令和元年度補正予算(第7号)により緊急つなぎ融資資金による支援対策を迅速に可決成立するとともに、3月24日には追加支援の補正予算(第8号)が追加上程され、愛知県社会福祉協議会を窓口は無利息小口貸付と生活総合支援金の特例を設けるとともに、学校の臨時休業に伴う放課後等デイサービス助成も行います。また議会運営は令和2年度当初予算始め各議案の質疑も延べ66人が簡明に行うとともに、各常任委員会も理事者側の出席者を課室長以上に限定しアルコール手指消毒の励行とマスクの着用を推奨し、また審議中に窓を開放して換気するなど、できる限り感染防止措置を図りながら慎重に審議を行いました。そして3月25日(最終日)には国の主要農産物種子法廃止後の愛知県における主要農作物の優良な種子の安定的な供給を図るため、議員提出(各会派共同提案)により「主要農産物の品種の開発並びに種子の生産及び供給に関する条例」を追加上程し予算関係議案29議案、条例関係議案33議案、その他の議案24議案など計86議案を可決成立しました。今後も県民の安心安全の確保のため「人が輝くあいち」「文化・スポーツの振興」「教育のICT化」などの政策とSDGs(注1)との融合・推進を図って参りますので、一層のご指導とご鞭撻をお願いしてごあいさついたします。

(注1)「SDGs」とは「S」サステナブル(持続可能)「D」ベロップメント(開発)「Gs」ゴールズ(目標)の略称です。

ジブリパーク整備推進(愛・地球博記念公園内)・改修や周辺道路対策を推進

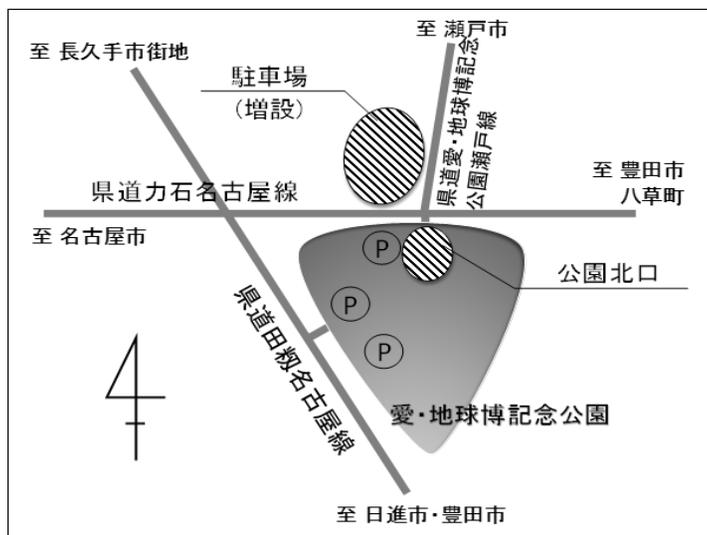
世界で類を見ないオンリーワンとなるジブリの世界観を表現するために、愛知県事業で初めてECI方式(注2)を活用した実施設計を踏まえ「青春の丘エリア」「ジブリの大倉庫エリア」「どんどこ森エリア」の整備工事と展示・演示計画を検討し2022年中に開業します。併せて「もののけの里エリア」「魔女の谷エリア」についても同じくECI方式を活用して実施設計・工事を行い2023年全面開業予定です。(総事業費 約340億円)

- 1 ジブリパーク整備工事1,820,125千円
青春の丘エリア・ジブリの大倉庫エリア
どんどこ森エリアの整備
- 2 展示・演示計画検討業務294,024千円
青春の丘エリア・ジブリの大倉庫エリア
どんどこ森エリアの展示・演示計画検討
- 3 ジブリパーク実施設計 636,353千円
基本設計を踏まえて、もののけの里エリア
魔女の谷エリアの図面を作成



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
①青春の丘エリア					開業	
②ジブリの大倉庫エリア	基本構	実施設計	工事		開業	
③どんどこ森エリア	本設計				概ね1年後	
④もののけの里エリア	想計					開業
⑤魔女の谷エリア			実施設計	工事		

(注2)ECI方式：プロジェクト設計段階より施工者の技術力を設計内容に反映させることで「コスト削減」や「工期短縮」を目的とした方式のこと (ECIとはアーリー・コントラクター・インボルブメントの略)



- 公園施設の整備・改修 831,813 千円(外に債務負担行為 1,032,245 千円)
公園北口においてインフォメーションやゲストサービス機能等を備えた総合案内センター(仮称)を設置するなど公園の施設の整備・改修に向けた設計を進め工事に着手する
- 駐車場増設 374,538 千円(外に債務負担行為 1,686,300 千円)
駐車場用地の確保に向けた調査や駐車場設計をすすめ、用地取得や工事に着手する。
- 周辺道路の渋滞対策 600,000 千円
県道力石名古屋線を始め公園周辺の道路について交差点周辺における車線の追加や右左折車線の延長などの整備に向けた測量・設計を進め工事に着手する。



スタートアップ拠点「ステーションAI(エーアイ)」整備計画

- ステーションAiのコンセプト (整備事業費181,807千円(外に債務負担行為14,906,000千円))
愛知県はこの地域の優秀なスタートアップを創出育成して海外展開を促すとともに世界から有力なスタートアップを呼び込むことで世界から優秀な人材を集める。さらにスタートアップと地域のモノづくり企業等の交流を図ることにより新たな付加価値が次々と創出される総合的な拠点となることをめざします。(具体的な内容は「本会議・議案質疑」をご覧ください)



拠点の各階用途イメージ

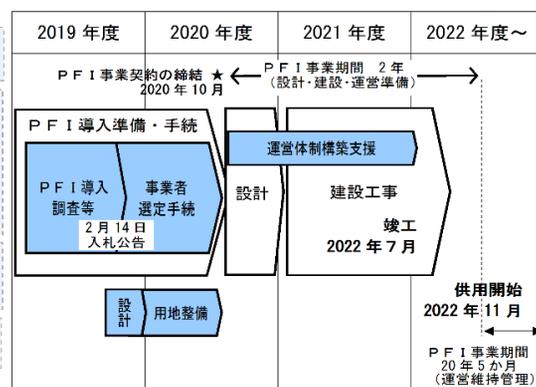
最大約 30,000 ㎡超の日本随一の拠点

上層階	宿泊・研修施設
中層階	オフィス 試作室
低層階	商業施設
地下階	駐車場 倉庫

具体的機能(想定)

- [上層階]**
 - ◆ 宿泊・研修施設
- [中層階]**
 - ◆ スタートアップ及びパートナー企業等向けオフィス
 - ◆ 会議室
 - ◆ テック・ラボ機能(試作品製作、評価等)
 - ◆ 行政支援窓口
- [低層階]**
 - ◆ カフェ・レストラン等
 - ◆ セミナールーム
- [地下階]**
 - ◆ 駐車場・倉庫・機械室

事業スケジュール



2 公共施設等運営権方式(コンセッション)による整備・運営

愛知県はPFI法に基づき、事業者が自らの提案をもとに施設の設計、建設を行った後、県に施設の所有権を移転し、運営については公共施設等運営権(コンセッション)方式により運営権を民間事業者に設定(売却)する計画です。

運営権対価

- 最低提案価格 約50億円
- 運営権の存続期間 2022年11月～2043年3月(20年5か月)



県の政策的支援策

- スタートアップへの賃料負担軽減
 - ・スタートアップのオフィス賃料の一部を県が補助し、資金力が脆弱であるスタートアップの賃料負担の軽減を図ることにより、スタートアップが実施する事業の強化を促進する。
- スタートアップに対する支援業務の充実
 - ・スタートアップ及びパートナー企業等向けオフィス運営業務において、プロフィット/ロスシェア方式を採用することにより、SPCの財務面での強化と経営安定化を図り、SPCによるスタートアップ支援業務への経営資源投入の促進と支援業務効果の最大化を図る。

3 スターションAI早期支援拠点(事業費70,911千円)

愛知県は2020年1月WeWorkグローバルゲート名古屋(名古屋市中村区)に早期支援拠点を開設してスタートアップ事業を展開し、早期支援拠点での事業推進実績を蓄積してステーションAI完成後のスタートアップ事業の推進を図ります。現在、8企業1個人が入居し愛知発スタートアップを支援しています。



本会議・議案質疑(令和2年度当初予算から2項目質問しました)

1 「あいちスタートアップ事業について」

質問要旨(福田よしお) 革新的なビジネスモデルや最先端技術を持つ企業、新しいビジネスアイデアを持つ人材等との融合による新たな技術の発明、いわゆる「イノベーション」を誘発して海外展開を促すことにより、世界からも有力なスタートアップや優秀な人材が集まり、本県産業の更なる成長が期待できる「あいちスタートアップ推進事業費」と「スタートアップ支援拠点整備事業費」について伺う。

答弁要旨(経済産業局長)

ステーションA i 早期支援拠点は本年1月に名古屋駅近くのWeWorkグローバルゲート名古屋内に開設した。WeWorkには海外と幅広いネットワークを有するほか入居者同士のマッチング、国内外への情報発信も行うなど令和4年にオープン予定のステーションA i が整備されるまでの間、支援拠点として最適な環境を備えている。現在、ここには県が選定した9つのスタートアップが入居しており、現在、これらの企業に対してビジネスモデルの更なるブラッシュアップなどの支援を行っている。来年度は本拠点に創業支援のワンストップ窓口を開設して2名の統括マネージャーを配置し、ビジネスモデルの立案や事業展開へのアドバイス等を行うほかスタートアップと既存企業や投資家とのマッチング、起業経験者との交流も図っていく。こうした取組の充実でステーションA i が整備されるまでの間、本拠点が愛知のスタートアップ・エコシステムの形成に向けた中核的機関としての役割を果たしていくよう努めていく。



2 「第3次あいち地震対策アクションプランの進捗管理について」

質問要旨(福田よしお)

安心安全な愛知県をめざしアクションプランは「迅速な復旧・復興を目指す」を掲げ、対策ターゲットとして事前復興、復興方針・体制づくりなどを進めることが盛り込まれている。この4月で計画策定から5年が経過するが、アクション項目の中には「地籍整備の推進」など市町村が主体となって行う取組みもあるが、市町村主体の事業項目も含め進捗管理はどうなっているのか。

答弁要旨(防災部長)



アクションプランはアクション項目ごとに具体的な目標を設定し、毎年度、その進捗をグラフ等で見える化して進捗管理し、PDCA(計画、実施、評価、改善)サイクルにより対策の質を維持・向上させ、常に進化する計画をめざしている。このため9年間の計画期間で3年ごとに見直すサイクルとしているが、2年目の2017年3月に熊本地震の検証を踏まえた改訂を行い、2018年8月には3年間の進捗検証や大阪北部地震等を踏まえブロック塀等の耐震対策の推進や被災者生活再建支援金の支給制度の充実などを追加して対策の強化を図った。また、市町村が主体の取組についても、南海トラフ地震等対策事業補助金などによる財政的支援やハザードマップ作成に係る技術的支援など県がバックアップし、目標達成に向けた進捗管理を行っている。今後もしっかりと進捗管理を行い、アクションプランの目標である「地震から県民の生命・財産を守る強靱な県土づくり」に努めていく。

要望(福田よしお)

迅速な復旧・復興を目指す地籍整備について要望する。北海道、東北地方、西日本地方の県では80パーセント以上地籍調査が進捗しているが、愛知県は20パーセント未満と防災上重要な地籍整備が遅れている。今後は防災上重要な県道建設にあたり市町村が地籍調査を実施したところから都市計画道路の建設やバイパス道路工事に着手するように周知することで、地籍調査の推進と長年未着工となっている県道事業も推進できるものと思う。今後も県民の安心安全のためオール愛知県で地震防災アクションプランを強力に推進するよう要望する。

新政あいち県議団資料

令和2年度 県予算のポイント



歳入 法人二税は1割を超える減収、県税の実質収入は大幅減

歳入の大宗をなす県税は、前年度から148億円減となる1兆1,669億円を計上。このうち法人二税は、企業収益の減速に加え、法人県民税の税率引下げの影響により1割を超える430億円の減となる。また、地方消費税は2019年10月からの税率引上げの影響が本格的に現れ増収となるものの、都道府県間の清算金や市町村交付金の支出増があることから、実質収入ベースの県税収入は464億円の大幅減となる。

歳出 医療・介護などの経費が引き続き増加する中、社会基盤整備は着実に推進

後期高齢者医療費負担金を始めとする医療・介護などの経費や、幼児教育・保育の無償化のための経費が増加する中、ジブリパークの整備や安全・安心を確保するための道路、河川等の整備など、将来に向けた投資は着実に推進。

本県の財政は、単年度の歳入だけで歳出を賄うことができず、多額の基金取崩しに依存する厳しい財政状況が続いているが、そのような中でも県債残高の抑制など、健全で持続可能な財政基盤の確立に向けた取組を進めていく。



SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標

SDGsとは2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のことです。先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標として17のゴール(目標)とその課題ごとに設定された169のターゲット(達成基準)から構成され、2030年までに達成することが目標とされています。これをうけて日本政府は、2016年12月に「持続可能な開発目標(SDGs)実施指針」を決定しました。また2019年12月にはこの指針を改定するとともに、2020年のSDGs推進のための具体的な施策をとりまとめた「SDGsアクションプラン2020」を決定しました。愛知県は2019年7月に内閣府から「SDGs未来都市」に選定されました。これはSDGsの理念に沿った取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されるもので、2019年8月にはSDGsの達成に向け「愛知県SDGs未来都市計画」を策定しました。今後、各市町村も政策、事業を進めるにあたり「誰一人取り残さない」SDGsとの融合・推進を図られます。



福田よしおのひとり言

今年1月から県内の新型コロナウイルスの感染が徐々に広がり、2月末から学校休業、3密(密閉・密集・密接)を避けるとともに感染防止対策(手洗い・うがい・マスク・消毒・換気など)を進めていますが、一向に終息の気配がありません。愛知県議会としても3月11日「新型コロナウイルス感染症対策の強化について」の意見書を可決し国に提出しました。2020東京オリンピックの延期や愛知県を始め各自治体等のイベントも中止が発表されています。日々の感染情報を冷静に注視し、感染防止対策と睡眠と食事、そして適度な運動(ウォーキングなど)で身体の代謝に心がけ免疫力をアップさせ、1日も早く新型コロナウイルスを終息させたいものです。結びに安心安全で活力ある愛知県をめざし取り組んで参りますので、皆様の一層のご支援とご鞭撻をお願いします。



活動 Photo



ラリーカーパレード
(名古屋市中区栄広場)



政策要請活動(東郷町)
連合愛知尾張東地域協議会



東郷町商工会研修会
(京都市)



国家戦略特区セミナー
(名古屋市名進研ホール)



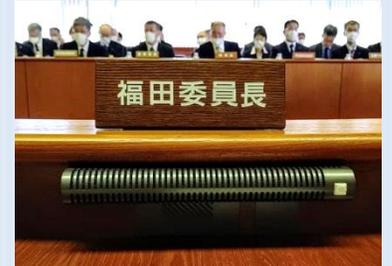
前日進市長 萩野幸三氏
叙勲祝賀会・歴代市長
(日進市岩崎台)



政策要請活動(日進市)
連合愛知尾張東地域協議会



愛知県文化振興事業団
(愛知県芸術文化センター)



愛知県議会教育・スポーツ委員会
手指消毒・マスク着用